

## 2024/25 スピードスケート国際競技会派遣選手選考基準

### 【決定の方法】

国際競技会への派遣選手選考は、以下の基準に基づき、強化部委員会が推薦し、選考委員会又は理事会で承認することによって決定する。

### 【派遣選手団の編成方針】

1. 日本代表として十分な活躍が期待される選手の中から選考する。
2. 日本代表として十分な活躍が期待できる種目を優先的に選考する。
3. 行動規範を遵守し、活力ある日本スケート連盟を代表するに相応しい選手・役員をもって編成する。

### 【出場に関する制限】

1. 国際スケート連盟 (ISU) によって以下の通り制限される。
  - ・ 各国際競技会への日本の各種目出場枠数
  - ・ 世界スピードスケート選手権大会特別参加資格ランキングリスト (SQRL)
  - ・ 各国際競技会の参加標準記録 (後述)
2. 日本スケート連盟による派遣標準記録 (後述) を設定し、派遣 B 標準記録以内の選手を派遣対象とする。

### 【特記事項】

- ・ 各国際競技会において、日本の種目出場枠に空きが生じている場合、当該派遣選手団の監督の責任の下、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を追加でエントリーすることができる。この場合、当該種目の派遣標準記録以内であるかどうかは問わない。
- ・ 各種目 (マススタート、チームパシュートを除く) の補欠は、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長が、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考する。
- ・ ISU の参加要項等に変更があった場合は、それに準じて選考方法等を再検討し変更する場合がある。
- ・ 本選考基準において、JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議による選考を定めている場合において意見の一致に至らなかった場合は、多数決の方法をもって決する。また、ここでの選考は、強化部委員会の出席者 (選考の対象とされる選手と同所属や担当コーチなどといった関係者を除く) の 3 分の 2 以上の多数をもって変更することができる。
- ・ 代表選手の決定後、ケガや病気などによって大会への参加が困難だと判断された場合は、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、派遣リザーブリスト (後述) に登録された選手と入れ替える場合がある。その場合、強化スタッフに登録されたスポーツドクターの診断・見解を参考に検討する。
- ・ マススタート及びチームパシュートにおいて、対象競技会の成績で選手を選考する場合、選考時点

の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により選考の対象となる条件（以下、「MS・TP 選考条件」という）を以下の通り設定し、いずれかを満たした選手を対象とする。

- ① 男子は 1500m 又は 5000m、女子は 1500m 又は 3000m のいずれかで 6 位以内の選手。
- ② 男子は 1500m と 5000m、女子は 1500m と 3000m のタイムの合計ポイントを算出し（ISU ルール第 265 条 3 項に従う）、それぞれ 6 位以内の選手。
- ③ 1000m～10000m までのいずれかで派遣 B 標準記録以内の選手。

- ・ 本選考基準において、上位派遣標準記録（派遣 SS 標準記録以内の選手同士を比較する必要がある場合は派遣 SS 標準記録）への記録達成率を用いる場合は、以下の算出および比較方法に従うものとする。

男子 500m 派遣 B 標準記録以内の記録 35,40 を持つ a 選手の場合：

派遣 A 標準記録 35,07 が上位派遣標準記録となるため、 $35.07 \div 35.40 \times 100 = 99.06\%$  が記録達成率となる。

男子 1000m 派遣 B 標準記録以内の記録 1.10,30 を持つ b 選手の場合：

派遣 A 標準記録 1.09,38 が上位派遣標準記録となるため、 $69.38 \div 70.30 \times 100 = 98.69\%$  が記録達成率となる。

a 選手と b 選手の比較：

記録達成率の高い a 選手が優位となる。

1. 四大陸スピードスケート選手権大会（11/15～17、日本・八戸、500m・1000m・1500m・女子 3000m・男子 5000m・MS・TP・TS）

※ MS（マススタート）、TP（チームパシュート）、TS（チームスプリント）

#### 【選考方針】

四大陸スピードスケート選手権大会で日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

#### 【派遣可能人数】

男女各最大 10 名

#### 【枠数】

男子：500m（3）、1000m（3）、1500m（3）、5000m（3）、MS（2）、TP（1）、TS（1）

女子：500m（3）、1000m（3）、1500m（3）、3000m（3）、MS（2）、TP（1）、TS（1）

#### 【選考基準】

対象競技会：第 31 回全日本スピードスケート距離別選手権大会

※ 選考は、距離別部門のみを対象とする。

- (1) 男女 500m、男女 1000m、男女 1500m、女子 3000m 及び男子 5000m の出場枠のうちそれぞれ 1 名の派遣選手は、対象競技会における当該種目の順位に従い、最上位者を選考する。
- (2) 男女マススタートの出場枠のうちそれぞれ 1 名の派遣選手は、MS・TP 選考条件を満たした選手の中から、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピード

スケート強化部長の協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、選考する。

- (3) 男女チームパシュートの正選手各 3 名は、当該年度のワールドカップ第 1 戦又は第 2 戦に選考（個人種目含む）された選手（派遣リザーブリスト登録者は除く）の中から、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、本連盟主催の強化合宿等におけるパシュート練習での力量についての総合的な検討を加えて、選考する。
- (4) 残りの出場選手は、対象競技会の男女 500m、男女 1000m、男女 1500m、女子 3000m 及び男子 5000m において、派遣 SS 標準記録以内、派遣 S 標準記録以内、派遣 A 標準記録以内、派遣 B 標準記録以内、派遣 B 標準記録以下の選手の順に、派遣可能人数に達するまで選考する（男子 10000m、女子 5000m、マススタートを除く）。同じ標準記録内に位置する複数の選手がある場合の優劣は、上位派遣標準記録（派遣 SS 標準記録以内の選手同士を比較する必要がある場合は派遣 SS 標準記録）への記録達成率の比較により決する。それでも優劣を決しない場合は、対象競技会における他出場種目の成績にて上記と同様の比較を行う。
- (5) 男女チームスプリントは、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考し、エントリーする場合がある。
- (6) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

#### 【特記事項】

- ・ 男女チームパシュート及びチームスプリントにおける正選手と補欠選手との入れ替えは、本競技会へ向けての練習状況等を総合的に検討し、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長が、必要に応じて行うものとする。
- ・ 本国際競技会への派遣に際し、日本スケート連盟による派遣 B 標準記録による出場に関する制限は適用しない。
- ・ 上記（1）項において、選考委員会開催までに、選考候補者による当該種目への辞退が確認できた場合は、当該種目の次点者を選考する。また、上記（3）項においても、同様の状況となり候補選手の選考が困難となった場合は、対象範囲を「対象競技会にエントリーしている選手の中から」と変更し、選考する。

2. ワールドカップ第 1 戦長野大会（11/22～24、500m・1000m・1500m・女子 3000m・男子 5000m・MS・TP・MR）・第 2 戦北京大会（11/29～12/1、500m・1000m・1500m・女子 3000m・男子 5000m・MS・TS）

※ MR（ミックスリレー）

※ 男女 500m は、第 1～2 戦のいずれにおいてもそれぞれ 2 本実施

#### 【選考方針】

世界スピードスケート選手権大会における日本の出場枠拡大及び次年度のワールドカップにおける日本の出場枠維持を目指し、日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

#### 【派遣可能人数】

制限なし

【枠数】

男子：500m (5)、1000m (5)、1500m (5)、5000m (5)、MS (2)、TP (1)、TS (1)

女子：500m (5)、1000m (5)、1500m (5)、3000m (5)、MS (2)、TP (1)、TS (1)

【選考基準】

対象競技会：第31回全日本スピードスケート距離別選手権大会

※ 選考は、距離別部門のみを対象とする。

- (1) 男女500m、男女1000m、男女1500m、女子3000m及び男子5000mの出場枠のうちそれぞれ4名の派遣選手は、対象競技会における当該種目の順位に従い、最上位者から順に選考する。残りの派遣選手は、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、対象競技会にエントリーしている選手の中から、対象競技会の順位や前年度及び今年度の競技成績を考慮し、選考方針を踏まえた総合的な検討によって枠数に至るまで選考する。
- (2) 男女チームパシュートの正選手各3名と補欠選手各1名は、MS・TP選考条件を満たした選手の中から、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、本連盟主催の強化合宿等におけるパシュート練習での力量についての総合的な検討を加えて、選考する。また、必要に応じて、当該派遣選手団の中から出場可能な選手1名を補欠に加えることができる（この場合の補欠の優先順位は2番目とする）。
- (3) 男女マススタートの正選手各2名（枠順位1及び2番目）と補欠選手各1名は、MS・TP選考条件を満たした選手の中から、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、選考する。
- (4) 男女チームスプリント及びミックスリレーは、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考し、エントリーする場合がある。
- (5) 当該派遣選手団の選考に至らなかった次点者を、男女500m、男女1000m、男女1500m、女子3000m、男子5000mについてはそれぞれの種目において男女各2名まで、男女マススタート及び男女チームパシュートについては2種目合わせて男女各3名まで、派遣リザーブリスト登録者として選考する場合がある。
- (6) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ ワールドカップ第1戦における各種目のエントリー順は、ISUワールドカップ参加標準記録の達成を示すための、エントリー時に所持している記録順によるものとする。なお、最終のエントリー順はISUによる決定に従う。
- ・ 各ワールドカップの男女チームパシュートにおける正選手と補欠選手との入れ替えは、遠征中におけるワールドカップの成績や練習状況等を総合的に検討し、選考時点のJOCハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、必要に応じて行うものとする。

- ・ ワールドカップ第 1 戦長野大会への派遣に際しては、日本スケート連盟による派遣 B 標準記録による出場に関する制限は適用しない。また、ワールドカップ第 2 戦北京大会への派遣に際して、対象競技会において各距離（マススタートを除く）1～3 位以内の選手に関しては、日本スケート連盟による派遣 B 標準記録による出場に関する制限は適用しない。

### 3. 第 9 回アジア冬季競技大会（2/7～14、中国・ハルビン、100m・500m・1000m・1500m・女子 3000m・男子 5000m・TP・TS）

#### 【選考方針】

第 9 回アジア冬季競技大会で日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

#### 【派遣可能人数】

男女各最大 10 名

#### 【枠数】

男子：100m（4）、500m（4）、1000m（4）、1500m（4）、5000m（3）、TP（1）、TS（1）

女子：100m（4）、500m（4）、1000m（4）、1500m（4）、3000m（3）、TP（1）、TS（1）

#### 【選考基準】

対象競技会：第 31 回全日本スピードスケート距離別選手権大会

※ 選考は、距離別部門のみを対象とする。

第 9 回アジア冬季競技大会への出場の意思が確認できた者を対象とし、以下の基準に従って選考する。

- (1) 男女 500m、男女 1000m、男女 1500m、女子 3000m 及び男子 5000m の出場枠のうちそれぞれ 1 名の派遣選手は、対象競技会における当該種目の順位に従い、最上位者を選考する。
- (2) 男女チームパシュートの正選手各 3 名は、対象競技会にエントリーしている選手の中から、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、総合的な検討を加えて、選考する。
- (3) 残りの出場選手は、対象競技会の男女 500m、男女 1000m、男女 1500m、女子 3000m 及び男子 5000m において、派遣 SS 標準記録以内、派遣 S 標準記録以内、派遣 A 標準記録以内、派遣 B 標準記録以内、派遣 B 標準記録以下の選手の順に、派遣可能人数に達するまで選考する。同じ標準記録内に位置する複数の選手がある場合の優劣は、上位派遣標準記録（派遣 SS 標準記録以内の選手同士を比較する必要がある場合は派遣 SS 標準記録）への記録達成率の比較により決する。それでも優劣を決しない場合は、対象競技会における他出場種目の成績にて上記と同様の比較を行う。
- (4) 男女 100m の派遣選手は、男女 500m で選考された者を選考する。
- (5) 男女チームスプリントは、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考し、エントリーする。
- (6) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

#### 【特記事項】

- ・ 第 9 回アジア冬季競技大会への出場意思の確認は、第 31 回全日本スピードスケート距離別選手権大会終了後数日内に実施する。なお、指定された期日内に回答が得られなかった者は、本選考の対

象から除外する。

- ・ 男女チームパシュート及びチームスプリントにおける正選手と補欠選手との入れ替えは、本競技会へ向けての練習状況等を総合的に検討し、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長が、必要に応じて行うものとする。
- ・ 本国際競技会への派遣に際し、日本スケート連盟による派遣 B 標準記録による出場に関する制限は適用しない。
- ・ 本国際競技会のエントリー締切日（現在は 11 月下旬に設定）に変更が生じ、第 92 回全日本スピードスケート選手権大会（12/13～15）終了後に設定された場合は、本選考の対象競技会を第 92 回全日本スピードスケート選手権大会に変更し、選考基準も変更する場合がある。

4. ワールドカップ第 3 戦カルガリー大会（1/24～26、500m・1000m・1500m・女子 5000m・男子 10000m・MS・TS）・第 4 戦ミルウォーキー大会（1/31～2/2、500m・1000m・1500m・女子 3000m・男子 5000m・MS・TP・MR）・第 5 戦ザコパネ大会（2/21～23、500m・1000m・1500m・女子 3000m・男子 5000m・MS・TS）・第 6 戦ヘレンベーン大会（2/28～3/2、500m・1000m・1500m・女子 3000m・男子 5000m・MS・TP・MR）

※ 男女 500m は、第 3 戦はそれぞれ 1 本実施、第 4～6 戦のいずれにおいてもそれぞれ 2 本実施

#### 【選考方針】

世界スピードスケート選手権大会における日本の出場枠拡大及び次年度のワールドカップにおける日本の出場枠維持を目指し、日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

#### 【派遣可能人数】

制限なし

#### 【枠数】

男子：500m（5）、1000m（5）、1500m（5）、5000m（5）、10000m（5）、MS（2）、TP（1）、TS（1）

女子：500m（5）、1000m（5）、1500m（5）、3000m（5）、5000m（5）、MS（2）、TP（1）、TS（1）

#### 【選考基準】

対象競技会：ワールドカップ第 1～2 戦、第 92 回全日本スピードスケート選手権大会

- (1) 男女 500m、男女 1000m、男女 1500m、女子 3000m 及び男子 5000m の出場枠のうちそれぞれ 1 名の派遣選手は、ワールドカップ第 1～2 戦のそれぞれについて（500m が 2 本ある場合は 1 本ごとに）、種目ごとにディビジョン A および B の全レースを対象としたタイムランキングを作成し、いずれか 1 つでもタイムランキング 3 位以内の成績を残した選手がいた場合、当該選手を選考する。なお、複数の選手がいた場合は、より上位のタイムランキングを有する選手を選考する。同ランキングにより優劣が決しない場合は、当該選手のセカンドベストにおけるタイムランキングを比較し、優劣を決する。それでも優劣が決しない場合は、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、優劣を決する。
- (2) 男女 500m、男女 1000m、男女 1500m、女子 3000m 及び男子 5000m の出場枠のうち、上記 (1) 項で選考された選手を含めたそれぞれ 3 名の派遣選手は、ワールドカップ第 2 戦終了時のワールドカップポイントランキング上位者より順に選考する。

- (3) 男女 500m、男女 1000m、男女 1500m、女子 3000m 及び男子 5000m の出場枠のうち、残りの派遣選手は、上記 (1) および (2) 項で選考された選手を除き、第 92 回全日本スピードスケート選手権大会における当該種目の順位に従い、最上位者から順に選考する。
- (4) 女子 5000m 及び男子 10000m の出場枠のうち、それぞれ 4 名の派遣選手は、女子 3000m 又は男子 5000m において上記 (1) ～ (3) 項の基準を順次準用して、選考する（ここで選考された選手は、女子 5000m 及び男子 10000m の派遣標準記録の達成可否を問わず当該種目に選考する）。残りの 1 名の派遣選手は、すでに選考された者を除く選手の中で、第 92 回全日本スピードスケート選手権大会における女子 5000m 及び男子 10000m の順位に従い、最上位者を選考する。
- (5) 男女チームパシュートの正選手各 3 名と補欠選手各 1 名は、ワールドカップ第 1 戦又は第 2 戦に選考（個人種目含む）された選手（派遣リザーブリスト登録者は除く）、又は第 92 回全日本スピードスケート選手権大会において MS・TP 選考条件を満たした選手の中から、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、本連盟主催の強化合宿等におけるパシュート練習での力量についての総合的な検討を加えて、選考する。また、必要に応じて、当該派遣選手団の中から出場可能な選手 1 名を補欠に加えることができる（この場合の補欠の優先順位は 2 番目とする）。
- (6) 男女マススタートの正選手各 2 名の内、各 1 名は、以下の手順①及び②に従って選考する。残りの正選手各 1 名及び補欠選手各 1 名は、ワールドカップ第 1 戦又は第 2 戦に選考（個人種目含む）された選手（派遣リザーブリスト登録者は除く）、又は第 92 回全日本スピードスケート選手権大会において MS・TP 選考条件を満たした選手の中から、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、選考する。
- ① ワールドカップ第 1～2 戦において、いずれか 1 つでもディビジョン A で 3 位以内の成績を残した選手がいた場合、当該選手を選考する。なお、複数の選手がいた場合は、より上位の成績を有する選手を選考する。同成績により優劣が決しない場合は、当該選手のワールドカップ第 2 戦終了時のポイントランキングを比較し、優劣を決する。それでも優劣が決しない場合は、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、優劣を決する。
- ② 上記①によって選考に至らなかった場合、第 92 回全日本スピードスケート選手権大会において MS・TP 選考条件を満たした選手の中から、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、選考する。
- (7) 男女チームスプリント及びミックスリレーは、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考し、エントリーする場合がある。
- (8) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

#### 【特記事項】

- 各ワールドカップの男女チームパシュートにおける正選手と補欠選手との入れ替えは、遠征中にお

けるワールドカップの成績や練習状況等を総合的に検討し、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、必要に応じて行うものとする。

- ・ ワールドカップ第 4 戦終了時点において、本選考基準によって選考された選手の成績について、本競技会における選考方針「当該年度の世界スピードスケート選手権大会における日本の出場枠拡大及び次年度のワールドカップにおける日本の出場枠維持」の観点から、総合的に評価する。その後、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、本選考方針を十分に満たすと判断できなかった選手は、ワールドカップ第 5～6 戦への派遣を取り消す場合がある。

#### 5. 世界スピードスケート選手権大会 (3/13～16、ノルウェー・ハーマル、500m・1000m・1500m・女子 3000m・5000m・男子 10000m・MS・TP・TS)

##### 【選考方針】

世界スピードスケート選手権大会で十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

##### 【派遣可能人数】

制限なし

##### 【枠数】

ワールドカップ第 1～6 戦までのポイントランキング及びタイムランキング (SQRL) により、以下の国別最大枠数が割り振られる。

男子：500m (3)、1000m (3)、1500m (3)、5000m (3)、10000m (2)、MS (2)、TP (1)、TS (1)

女子：500m (3)、1000m (3)、1500m (3)、3000m (3)、5000m (2)、MS (2)、TP (1)、TS (1)

##### 【選考基準】

対象競技会：ワールドカップ第 1～4 戦、第 92 回全日本スピードスケート選手権大会

- (1) 男女 500m、男女 1000m、男女 1500m、女子 3000m、男女 5000m、男子 10000m の派遣選手は、それぞれ日本が獲得した出場枠数 (ワールドカップ第 6 戦終了後に ISU から通知される予定) に応じ、以下の通りの枠優先順位に従って選考する。
  - ① 上記 4 項「ワールドカップ第 3～6 戦」における選考基準の (1) 項を満たして選考された者を枠優先順位 1 とする。
  - ② 上記①項で選考された者を除き、第 92 回全日本スピードスケート選手権大会における当該種目の順位に従い、最上位者を枠優先順位 2 とする。なお、男女 500m、男女 1000m、男女 1500m、女子 3000m、男子 5000m においては、上記①項を満たして選考された者がいない場合は、ここでの選考は、当該種目の順位に従い上位 2 名までとし、それぞれ枠優先順位 1 及び 2 とする。一方、女子 5000m、男子 10000m においては、ここでの選考を枠優先順位 1 とする。
  - ③ 上記①及び②項で選考された者を除き、ワールドカップ第 3～4 戦のそれぞれについて (500m が 2 本ある場合は 1 本ごとに)、種目ごとにディビジョン A および B の全レースを対象としたタイムランキングを作成し、より上位のタイムランキングを有する選手を枠優先順位 3 (女子 5000m、男子 10000m においては枠優先順位 2) とする。同ランキングにより優劣が決しない場合は、当該選手のセカンドベストにおけるタイムランキングを比較し、優劣を決する。それ

でも優劣が決しない場合は、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、優劣を決する。

- (2) 男女チームパシュートの正選手各 3 名と補欠選手各 1 名は、ワールドカップ第 1~4 戦に選考（個人種目含む）された選手（派遣リザーブリスト登録者は除く）の中から、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、本連盟主催の強化合宿等におけるパシュート練習での力量についての総合的な検討を加えて、日本が出場枠を獲得した際の対象選手として選考する。また、必要に応じて、当該派遣選手団の中から出場可能な選手 1 名を補欠に加えることができる（この場合の補欠の優先順位は 2 番目とする）。
- (3) 男女マススタートの正選手（各最大 2 名）と補欠選手（各 1 名）の合計各最大 3 名の選手は、それぞれ日本が獲得した出場枠数（ワールドカップ第 6 戦終了後に ISU から通知される予定）に応じ、以下の通りの枠優先順位に従って選考する。
  - ① 上記 4 項「ワールドカップ第 3~6 戦」における選考基準の (6) ①項を満たして選考された者を枠優先順位 1 とする。
  - ② ワールドカップ第 1 戦又は第 2 戦に選考（個人種目含む）された選手（派遣リザーブリスト登録者は除く）、又は第 92 回全日本スピードスケート選手権大会において MS・TP 選考条件を満たした選手の中から、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えて、上記①項で選考された者を含めて枠優先順位 3 まで選考する。
- (4) 男女チームスプリントは、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考し、エントリーする場合がある。
- (5) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

#### 【特記事項】

- ・ SQRL におけるリザーブリストの活用による出場枠の再配分がなされた場合、この時点において、出場可能な選手を、移動にかかる時間的な制限（フライト予約等）を含めて総合的な検討を加えて、選考する場合がある。
- ・ 男女チームパシュートにおける正選手と補欠選手との入れ替えは、遠征中におけるワールドカップの成績や練習状況等を総合的に検討し、選考時点の JOC ハイパフォーマンスディレクター、スピード部長及びスピードスケート強化部長の協議により、必要に応じて行うものとする。

【ISU ワールドカップ参加標準記録】

女子		男子	
500m	40,00	500m	36,20
1000m	1.20,00	1000m	1.12,00
1500m	2.02,00	1500m	1.50,50
3000m	4.22,00	5000m	6.45,00
5000m	4.22,00(3000m)	10000m	6.42,00(5000m)

- ※ 対象競技会は、2023年7月1日以降に開催されたすべてのISUメンバーに参加資格が与えられている国際競技会（ISUルール第107条3項に従う）、全日本スピードスケート距離別選手権大会、全日本スピードスケート選手権大会、全日本ジュニアスピードスケート選手権大会とする。
- ※ マススタート、チーム種目（チームパシュート、チームスプリント及びミックスリレー）にエントリーするためには、少なくとも1つの参加標準記録を達成していなければならない。なお、これらのチーム種目については、男女それぞれのチーム種目において最大1名は、1500mにおいて女子は2.10,00、男子は1.57,50、1000mにおいて女子は1.25,00、男子は1.16,00のいずれかを達成していなければならない。

【派遣標準記録】

女子					男子				
	SS標準	S標準	A標準	B標準		SS標準	S標準	A標準	B標準
500m	37,74	38,02	38,38	39,27	500m	34,62	34,83	35,07	35,57
1000m	1.14,88	1.15,59	1.16,64	1.18,76	1000m	1.08,40	1.08,96	1.09,38	1.10,37
1500m	1.55,72	1.57,13	1.58,33	2.02,28	1500m	1.45,10	1.46,00	1.46,64	1.48,84
3000m	4.01,87	4.04,67	4.08,23	4.18,93	5000m	6.13,69	6.17,75	6.23,97	6.31,63
5000m	6.52,81	6.58,52	7.06,28	7.20,32 又は 4.18,93 (3000m)	10000m	12.53,70	13.05,10	13.13,38	13.28,59 又は 6.31,63 (5000m)

- ※ 対象競技会は、2024年7月1日以降に開催された日本スケート連盟主催大会とする。なお、各国際競技会の選考基準において対象競技会が指定されている場合は、その内容に従う。
- ※ 男女500m、男女1000m、男女1500m、女子3000m、男子5000mについては、2019年度及び2021年度WC（カルガリー・ソルトレークシティー、最終戦以外）の各種目1番目のタイムの平均値をSS標準、3番目のタイムの平均値をS標準、各種目8番目のタイムの平均値をA標準、各種目25番目のタイムの平均値をB標準とした。また、女子5000m、男子10000mについては、2019年度ヌルスルタン大会、2021年度スタヴァンゲル大会及び2023年度WCスタヴァンゲル大会の各種目1番目のタイムの平均値をSS標準、3番目のタイムの平均値をS標準、各種目8番目のタイムをA標準、各種目20番目のタイム又は女子3000m、男子5000m各種目B標準の記録を、B標準とした。